

いいたて村の 「あたりまえをありがたいと思う日」

あたりまえだと思っていたけれど、実はとてもありがたいこと一。さまざまな思いを、「大喜利」で、教えていただきました。投稿は、村の皆さんからはもちろん、移住してきた方、県内各地の方、県外の方からも、寄せられました。中には、村の職員からの発信もあります。問いかけを受けとめてくださった皆さま、本当にありがとうございました。かけがえのない「あたりまえ」、あなたにとって、それは？心の言葉をシェアしましょう。

あたりまえだと思っていた「までー」が詛りでなくて「真手」でした。「までー」な心を常に持つ村民の皆さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた山間の村が都会的センスの村でした。飯舘村民の皆さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた村での近所の語らいが避難先でも同じでした。地域の皆さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていたいつもの除染の方々が全国遠方からの方々でした。作業員の皆さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていたごんぼっぱ入りの凍み餅が遠き良き日の味でした。佐須の千栄子姉さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた子供の頃、貧乏だったはずだけれども、いつも兄弟競ってご飯のおかわりをした。食べられなかったことは、一度もない。特においしいと思っていなかったが、大人になってから、ある時仕事で大きな町へ出張した。旅館のご飯は不味かった。不味い米を初めて食べた。旅館のご飯が不味かったわけじゃない。両親が作っていた米がうまさぎたのだ。気がつくのが遅すぎたのでした。父ちゃん、母ちゃん、ありがとう。

あたりまえだと思っていたたった一度の人生、普通に笑える事が本当は親からのあったかい愛情のおかげでした。お母さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた生まれ育った飯舘村が避難生活で気づいた大切な場所でした。飯舘村に帰って生活できてありがたい。ありがとう。

あたりまえだと思っていた家族や友人の笑顔が明日への希望でした。笑顔のみんなへ、ありがとう。

あたりまえだと思っていた妻の料理が最高の幸せでした。まみさん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた辺りで寒くて住みにくくて人がどんどん出ていく飯舘村が実は、きれいで楽しそうでここなら住んでみたいと思う人がたくさん引っ越してくる村でした。移住してくれた皆さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていたまでいな里山が運動・睡眠・食が無尽でした。健康壘（ぬた）、ありがとう。

あたりまえだと思っていた近所のコンビニが自転車で行ける行動範囲でした。ローソン、ありがとう。

あたりまえだと思っていた地元のコンビニが「ただいま」と言える優しい灯りでした。ローソン、ありがとう。

あたりまえだと思っていた親切が受けるがわにまわった事でした。人間ってすばらしい、ありがとう。

あたりまえだと思っていた青空が汚染された事でした。復興に携わった方々、ありがとう。

あたりまえだと思っていた日々の生活が一瞬で変わった事でした。親身になってくれた方々、ありがとう。

あたりまえだと思っていた人も、空も、海も、風もが変わりはてたことでした。回復する自然に、ありがとう。

あたりまえだと思っていた水道水が原発事故で断水でした。支援水に、ありがとう。

あたりまえだと思っていた心臓の鼓動が不整脈でした。不整脈治療薬よ、ありがとう。

あたりまえだと思っていた私の名前が沢山の願いで彩られた、とっておきの言葉でした。おかあさん、おとうさん、ありがとう。

震災と原発事故の影響で6年に及ぶ全村避難を経験した飯舘村では、東日本大震災の発災日である3月11日を「あたりまえをありがたいと思う日」としてメッセージを発信しています。「あたりまえ（当たり前）」と「ありがたい（有り難い）」は、実は反対の意味を持つ言葉。しかし、失くした日常を見つめ直した時、「あたりまえ」と思っていたことが、奇跡とも呼べる「ありがたい」ことだったのだと、私達は一様に気づいたのでした。村は、多くの人と、この「あたりまえの日々への感謝」を共有していきたいと考えています。

あたりまえだと思っていた母の味が自分では再現できない特別な味でした。お母さん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた互いのきずなが奇跡のつながりでした。みんな、ありがとう。

あたりまえだと思っていた栄養満点のご飯が両親から私への大きな愛情でした。一人暮らしをして気付きました。お父さん、お母さん、いつも、ありがとう。

あたりまえだと思っていた水洗トイレぽっんとん便所でした。おトイレさん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた何気ない平凡な毎日が幸せな日々でした。家族、仲間、そして自然、ありがとう。

あたりまえだと思っていたガソリン満タン給油があの日は車1台10L（リットル）制限でした。それでも多賀城にいる息子を助けに行くことができ、ありがとう。（ガソリンに感謝）

あたりまえだと思っていた我が身の健康体が新鮮な野菜と畑の肉 大豆でした。なき両親に感謝、ありがとう。

あたりまえだと思っていた家族の絆が大切な思い出でした。感謝の気持ち、ありがとう。

あたりまえだと思っていた乳搾りが我が家の日課でした。乳牛よ、ありがとう。

あたりまえだと思っていたドライブが楽しく最高でした。みよちゃん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた普通に過ごした生活が実は最も平和な生活でした。普通の生活、ありがとう。

あたりまえだと思っていた若さが失われていくのでした。戻らない青春よ、ありがとう。

あたりまえに若いもんだと思っていた母親がいつの間にか、還暦を迎えるのでした。母ちゃん！ありがとう。

あたりまえだと思っていたレジ袋がなくても大丈夫でした。エコバッグ、ありがとう。

あたりまえだと思っていた親の介護が思えばほんの2～3年でした。貴重な時間を、ありがとう。

あたりまえだと思っていた美しい色の花が飯舘産でした。農業再開、ありがとう。

あたりまえだと思っていた室温氷点下が実は断熱されていない家でした。テクノロジー、ありがとう。

あたりまえだと思っていたふつうの暮らしが思えば楽しい日々でした。アハハッ、ありがとう。

あたりまえだと思っていたおばあちゃんのおかずが良かったて村の家の畑や山のおかげでした。いいたて、ありがとう。

あたりまえだと思っていた日々の業績が高いスキルのおかげでした。精鋭スタッフ、ありがとう。

あたりまえだと思っていた家族5人の生活が実は期間限定でした。でも離れていても支えてもらっているよ、ありがとう。

あたりまえだと思っていた私が大人になりました。親、ありがとう。

あたりまえだと思っていた幸楽苑が金沢にはありませんでした。8番らーめん、ありがとう。

あたりまえだと思っていたおいしい夜ご飯が一人で食べるとなんだかちょっと寂しく感じました。家族のみんなに、ありがとう。

あたりまえだと思っていた健康であることが自分だけでなく、誰かのためにもなっていることが分かりました。元気でいてくれて、ありがとう。

あたりまえだと思っていた友達と死ぬまでにもう100日もあえないのでした。VR、ありがとう。

あたりまえだと思っていた4年2組が私の楽園でした。1年間、ありがとう。

あたりまえだと思っていた今までの苗字が今では旧姓でした。育ててくれて、ありがとう。

あたりまえだと思っていた幸せが家族でした。大好き、ありがとう。

あたりまえだと思っていた最高の友達が実は、やばいやつでした。でも、いままで、ありがとう。

あたりまえだと思っていた日常の喜びが私の生きがいでした。幸せを、ありがとう。

あたりまえだと思っていた普通の学校生活が色々な事がありとても新鮮でした。皆おつかれーい、ありがとう。

あたりまえだと思っていた毎日の生活が家族、友達のおかげでした。みんな、ありがとう。

あたりまえだと思っていた家族、友達のおかげでした。かけがえのない大切な存在でした。本当に、ありがとう。

あたりまえだと思っていた通勤経路が災害の後、すぐ直って通れました。業者さん、雨の中の作業、ありがとう。

あたりまえだと思っていたガソリンスタンドでの給油が何時間並んでもできませんでした。ガソリンを運んでくれている人々、ありがとう。

あたりまえだと思っていた通勤の道路が大雨で陥没し、通行止めでした。復旧工事のみなさん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた飯館中あと1年で終わりました。コシノさん、ありがとう。

あたりまえだと思っていた学校生活がキセキの連続でした。クラスの皆、ありがとう。

あたりまえだと思っていたたくしーの通学がゼイタクでした。うんてんしゅサン、ありがとう。

あたりまえだと思っていた中学3年生が義務教育学校の9年生でした。希望の里学園、ありがとう。

あたりまえだと思っていた母との生活が終わってしまったのでした。今まで、ありがとう。

あたりまえだと思っていた中学3年生が9年生になりました。飯館中学校、ありがとう。

あたりまえだと思っていた学校生活があたりまえではありませんでした。いつも、ありがとう。

あたりまえだと思っていた飯館中学校が閉校でした。飯館中学校、ありがとう。

あたりまえだと思っていた感情・日常が過去から受けつがれた人生（みち）でした。先祖の方々、ありがとう。

あたりまえだと思っていた一番の感謝が私達の復興でした。支援を、ありがとう。

あたりまえだと思っていた白石ローソンが閉店でした。いままで、ありがとう。

あたりまえだと思っていたテレビ、食事、読書、おやつ…これまでなにげに楽しんでいた日々の営みがとても貴重な時間、大変ありがたい人生のひとつでした。全く予期せぬ新型コロナウイルスのおかげで、孫たちとのあり得ない程の濃密な時間のプレゼント、ありがとう。

あたりまえだと思っていたおいしい米、野菜、肉、おだやかな人情があふくまの山陵や、心をこめた生産者のなりわいによるものでした。ひとかみひとかみを味わいながら頂いています、ありがとう。

あたりまえだと思っていた今朝の強風の中での歩きがバランスを崩すほどに危ういものでした。加齢に加えての運動不足に気づかせて頂きました、ありがとう。

あたりまえだと思っていたありがとう!!というおかげが心がこもっており、とっても新鮮でした。私も他の方には心をこめて伝えたいと思います、ありがとう。

あたりまえだと思っていたこの青空…。何もかもを知りつつ、まるで何事もなかったかのような空が今日もかわりなく、あたたかく、私を包んでくれているのでした。ここで生かさせて頂いている者として、この地、この社会に、これから先もどのような関わり方をしていったら良いか、一つずつ考えていきます。手間や労力を惜しまないように…、ありがとう。

あたりまえだと思っていた今日があり、私にも、明日が来ることがこの空の下、多くの方々のたゆみない前向きな営みのお陰によるものでした。思い上がって、自然ななりわいと思い込んでいました、ありがとう。

あたりまえだと思っていた飯舘村のどこまでも透き通った青空、なにもかもを見て来た空が今日もあたりまえのように、全く、何のてらいもなく広がって、明るく、頭上にあるのでした。うらめしく思った日がない訳ではありませんが、今日までの導きに、今はこう思っています。希望を届けてくれて、ありがとう。

あたりまえだと思っていた日々のさわやかな目覚めがかげがえのない、その日、その日の始まりでした。充実の一日一日に感謝しています、ありがとう。

あたりまえだと思っていた妻の存在が実は尊いものでした。普段は口にしません、遠まわしに、ありがとう。

あたりまえだと思っていたおかげのあいさつが一日の疲れを飛ばす魔法の言葉でした。本当に、ありがとう。

あたりまえだと思っていた楽しい日々が家族、友人のおかげでした。家族、友人達、ありがとう。

あたりまえだと思っていた日常が日々、幸せな事でした。みんな、ありがとう。

あたりまえだと思っていた元気に、笑って、働くことがたくさんの仲間を支えられていたのです。職場のみんな、ありがとう。

あたりまえだと思っていた飯舘村の家で見る星空がきれいで大好きでした。記憶の中の星空、ありがとう。

あたりまえだと思っていた妻との会話が避難で離れ、電話越しでした。今はそばにいる妻へ、ありがとう。

あたりまえだと思っていた使い捨てマスクが品切れでした。残った3枚のマスク、ありがとう。

あたりまえだと思っていたとても優しい妻がいつの間にか厳しい女性になってしまっていました。お陰で私はかなり成長させられました、ありがとう。

あたりまえだと思っていたいっしょにスキーをすべってくれる仲間たちが人生の宝物でした。スキーに連れていってくれて、ありがとう。

あたりまえだと思っていた隣席の仕事仲間が心の病気で。いつも助けてくれて、ありがとう。

あたりまえだと思っていた長男のお嫁さんが子宮がんでした。私を呼んでくれて、孫を生み育ててくれて、ありがとう。

あたりまえだと思っていた自分の仕事が天と両親と皆さまからのさずかりものでした。私に仕事を与えてくださり、ありがとう。

あたりまえだと思っていた歌う仲間たちが人生の宝物でした。いっしょに笑い歌ってくれて、ありがとう。



「あたりまえをありがたいと思う日」に心を寄せてくださった皆さまに、心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。